



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
コード番号 2464 URL <http://www.bbt757.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大前 研一
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 伊藤 泰史

TEL 03-5860-5543

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,308	18.2	145	15.9	111	13.7	64	16.7
24年3月期第2四半期	1,106	—	125	—	98	—	55	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 64百万円 (16.6%) 24年3月期第2四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1,124.98	—
24年3月期第2四半期	957.05	—

(注) 1. 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	3,708	2,873	77.5	49,987.24
24年3月期	3,743	2,865	76.6	49,862.25

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,872百万円 24年3月期 2,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,100.00	1,100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,788	13.2	347	4.0	350	3.5	209	14.2	3,653.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) ハイダウェイ熱川リゾートプロジェクト投資事業任意組合、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	63,349 株	24年3月期	63,349 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,880 株	24年3月期	5,880 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	57,469 株	24年3月期2Q	57,905 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に回復基調が見られたものの、欧州の債務危機、海外経済の減速、円高の長期化に加え、日中韓の領土問題が両国の経済環境を影を落とす等により、先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか「世界に通用する人材を育成」すべく実践的な教育プログラムと独自の遠隔教育システムの開発、充実に努めてまいりました。

文部科学省に設置認可されたビジネス・ブレイクスルー大学(以下、BBT大学)経営学部では3年目の春期生を迎え、BBT大学大学院では春期生の入学者数としては過去最多を更新いたしました。BBT大学オープンカレッジにつきましては、個人向け教育プログラムの一部において低調となったものの、「リーダーシップ・アクションプログラム」(平成24年5月)を新規開講するなど教育プログラムの拡充に努めました。一方、グローバル人材育成関連を含む法人向け教育プログラムの受注は堅調に推移いたしました。

また、BBT大学オープンカレッジの「実践ビジネス英語」やBBT大学の英語教育プログラムのカリキュラムに含まれているオンライン英会話レッスンについて、これまでPCによる受講のみで提供していましたが、アップル社のiPhoneやiPadなどスマートフォンやタブレット端末でも受講できるアプリケーションを開発し、受講環境の向上にも取り組みました。

なお、本年8月に実施した事務所移転に伴う一時的な費用23百万円を営業外費用に計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,308百万円(前年同四半期比18.2%増)、営業利益は145百万円(同15.9%増)、経常利益は111百万円(同13.7%増)、四半期純利益は64百万円(同16.7%増)となりました。

セグメント区分別の状況につきましては以下のとおりであります。

① マネジメント教育サービス

マネジメント教育サービスの売上高は1,145百万円(前年同四半期比22.5%増)、セグメント利益は133百万円(同59.6%増)となりました。BBT大学経営学部では3年目の春期生を迎え、BBT大学大学院では今年度も春期生の入学者数としては過去最多を更新したこと、「リーダーシップ・アクションプログラム」を新規開講したこと、グローバル人材育成関連を含む法人向け教育プログラムの受注が堅調に推移したことによるものであります。

② 経営コンテンツメディアサービス

経営コンテンツメディアサービスの売上高は143百万円(前年同四半期比7.6%減)、セグメント利益は32百万円(同2.9%減)となりました。卒業生、修了生を対象に、受講したコンテンツの視聴延長や当社サービスを特別価格にて提供する有料会員サービスが順調に推移したものの、衛星レギュラー視聴の個人消費が落ち込んだことによるものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が88百万円、売掛金が60百万円及び前払費用が25百万円減少したものの、仕掛品が9百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加しました。これは主に有形固定資産が79百万円及び投資その他の資産が43百万円増加したものの、無形固定資産が5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は834百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が43百万円、未払費用が36百万円、未払消費税等が13百万円及び未払金が6百万円減少したものの、前受金が55百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益64百万円及び剰余金の配当57百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、計画を上回って推移しておりますが、開学3年目となるBBT大学における新規コンテンツ制作等や新規教育プログラムの開発に引続き注力するとともに、受講生数増加に対応すべくシステムの安定した運用に向けた再整備を計画しております。

通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、ハイダウェイ熱川リゾートプロジェクト投資事業任意組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,635,785	1,547,756
売掛金	205,131	145,093
仕掛品	178,340	188,107
貯蔵品	4,320	1,927
前払費用	60,956	35,848
繰延税金資産	8,299	13,471
その他	20,273	28,976
貸倒引当金	△84	△49
流動資産合計	2,113,022	1,961,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	394,288	432,389
減価償却累計額	△48,904	△48,371
建物及び構築物(純額)	345,384	384,018
機械装置及び運搬具	9,730	9,730
減価償却累計額	△7,737	△8,088
機械装置及び運搬具(純額)	1,992	1,642
工具、器具及び備品	261,032	309,771
減価償却累計額	△172,822	△180,187
工具、器具及び備品(純額)	88,210	129,584
土地	831,802	831,802
建設仮勘定	16,650	16,650
有形固定資産合計	1,284,040	1,363,697
無形固定資産		
借地権	76,071	76,071
ソフトウェア	145,812	146,612
ソフトウェア仮勘定	14,700	9,315
その他	55,619	54,376
無形固定資産合計	292,202	286,375
投資その他の資産		
投資有価証券	21,601	23,601
差入保証金	18,379	62,912
繰延税金資産	10,738	7,994
その他	3,266	2,633
投資その他の資産合計	53,986	97,142
固定資産合計	1,630,229	1,747,215
資産合計	3,743,252	3,708,348

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,433	2,300
未払金	13,354	7,319
未払費用	192,991	156,418
未払法人税等	96,521	53,207
前受金	535,388	590,502
奨学還付引当金	1,769	3,662
その他	30,094	18,998
流動負債合計	875,554	832,409
固定負債		
その他	2,163	2,291
固定負債合計	2,163	2,291
負債合計	877,718	834,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,477,525	1,477,525
資本剰余金	1,125,236	1,125,236
利益剰余金	548,824	556,006
自己株式	△286,052	△286,052
株主資本合計	2,865,533	2,872,716
新株予約権	—	831
少数株主持分	—	100
純資産合計	2,865,533	2,873,647
負債純資産合計	3,743,252	3,708,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,106,888	1,308,324
売上原価	361,219	447,627
売上総利益	745,669	860,696
販売費及び一般管理費	619,914	714,893
営業利益	125,754	145,802
営業外収益		
受取利息	3,394	5,189
投資有価証券売却益	2,000	—
未払配当金除斥益	1,982	761
その他	467	620
営業外収益合計	7,843	6,572
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,365	1,000
為替差損	29,213	14,286
事務所移転費用	—	23,948
固定資産除却損	1,530	1,193
固定資産売却損	2,895	—
支払手数料	108	—
営業外費用合計	35,112	40,429
経常利益	98,485	111,945
税金等調整前四半期純利益	98,485	111,945
法人税、住民税及び事業税	43,112	49,721
法人税等調整額	△45	△2,428
法人税等合計	43,066	47,293
少数株主損益調整前四半期純利益	55,418	64,651
少数株主損失	—	0
四半期純利益	55,418	64,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,418	64,651
四半期包括利益	55,418	64,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,418	64,651
少数株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	98,485	111,945
減価償却費	51,669	59,560
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31	△35
受取利息	△3,394	△5,189
未払配当金除斥益	△1,982	△761
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,000	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,365	1,000
固定資産除却損	1,530	1,193
売上債権の増減額(△は増加)	△7,409	60,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,600	△7,375
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,096	△3,133
未払費用の増減額(△は減少)	△24,569	△36,572
前受金の増減額(△は減少)	30,489	55,113
未払又は未収消費税等の増減額	9,422	△10,997
その他	64,441	41,620
小計	177,382	266,405
利息の受取額	3,085	4,751
法人税等の支払額	△57,284	△91,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,183	179,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150,617	△110,977
無形固定資産の取得による支出	△27,947	△26,959
投資有価証券の取得による支出	△500	△3,000
投資有価証券の売却による収入	2,000	—
関係会社株式の取得による支出	△12,000	—
定期預金の払戻による収入	605,089	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△114,416	—
敷金の差入による支出	△139	△51,967
その他	285	△3,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	301,755	△196,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△17,541	—
配当金の支払額	△52,668	△56,311
その他	—	831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,210	△55,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,772	△15,162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	326,956	△88,029
現金及び現金同等物の期首残高	1,027,140	1,635,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,354,096	1,547,756

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジメン ト教育サー ビス	経営コンテ ンツメディ アサービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	935,122	154,891	1,090,013	16,874	1,106,888	—	1,106,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,418	6,182	17,600	25,005	42,606	△42,606	—
計	946,540	161,074	1,107,614	41,880	1,149,495	△42,606	1,106,888
セグメント利益	83,955	33,717	117,673	8,080	125,754	—	125,754

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入及び賃貸収益等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジメン ト教育サー ビス	経営コンテ ンツメディ アサービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,145,710	143,190	1,288,901	19,422	1,308,324	—	1,308,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,527	7,328	17,856	24,758	42,614	△42,614	—
計	1,156,238	150,518	1,306,757	44,181	1,350,938	△42,614	1,308,324
セグメント利益	133,988	32,724	166,712	△20,909	145,802	—	145,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入及び賃貸収益等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。